

## 第20回 『糸張り&下草刈り』

と き 2013年8月17日(土) 9:30 - 16:00

ところ 田んぼ

天 気 晴れ(猛暑)

参加者 石田、梅下(午前)、久保、佐々木利江・優聖(午前)、高田直子(午前)、藤平(午前)、ゲスト:里山レンジャーズの皆さん(伊藤、高瀬、金子、高橋、杉本、宮本)、OBの吉田さん、園主 計15名(子ども1人とゲスト7人を含む)

### 【午前】

- ・ 9時半、広場には里山レンジャーズの皆さんが集合していた。今日は下見とのこと。石田さんからの説明と簡単な自己紹介など。
- ・ 園主と本日の作業(糸張り)についてお話ししようとするも不在、連絡も取れなかったが、作業予定を簡単に伝えてあるとのことなので糸張りを始める。
- ・ ロッカーの中から糸、ビニール紐(適当な長さに切つてある去年の残りを使用。巻いてあるものもある)とハサミを、鎌と作業小屋への坂の途中にしまってあった支柱60本(3本×20箇所)を用意する。支柱は作業中に1本折ってしまい急遽追加する。
- ・ 道具を準備している間、石田さんは里山レンジャーズの皆さんに谷戸をご案内。
- ・ 田んぼで穂がまだ出ていないのは井戸水の栓の近く(水温が低いため?)と田植えの後に黄色くなっていたあたり(病気?)。
- ・ 設計図(頂点4、頂点を除き短辺2、長辺6)をもとに支柱を立て、久保さんの歩数で均等割り位置を決めた。
- ・ 支柱3本を立てるのを里山レンジャーズの方々に手伝ってもらう。棒の立て方(田んぼ側に1本、畦側に2本で、刺す深さよりも三角形の取り方をしっかりと。3本を固定するビニール紐は縦にも巻き通し回収しやすいよう蝶結びに)を復習する。
- ・ 糸張りは石田さんが一人で始めたが、糸巻き3つを使って里山レンジャーズの方に手伝っていただく。メンバーの田んぼ靴を貸し出した。
- ・ 糸張り終了。園主からスイカとマクワウリの差し入れ。井戸水で冷たく甘く美味でした。
- ・ OBの吉田さんが来訪、たくさんのポカリスエットを頂きました。
- ・ チャリママから茄子とピーマンを沢山いただきました。

### 【お昼】

- ・ 各自昼食。

### 【午後】

- ・ 昼食後に残ったのは、石田、久保、吉田の3人とレンジャーズの伊藤さん。今後のボランティア活動の予定を話し合った。稲刈りと年明けの落ち葉かきを仮設定。
- ・ 伊藤さんが帰った後は、2台の刈払機を使って、3人で交代し雑木林の下草刈りを開始。
- ・ 一時間余り汗を流して終了。吉田さんは特に頑張ってくれた。ありがとう。
- ・ 石田さんと久保が残っていたら、園主が顔を出してくれた。今後の谷っ戸ん田に関して、意見交換。16時に解散。

(記録:藤平&久保)